

サザン クロス

vol.3

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

a happy new year!!
january.2009

公立病院改革プランの 策定と今なすべきこと



副管理者 中本 政吉

今日、新聞・テレビで医療や病院関係の事柄が報道されない日はない。医師・看護師不足、救急・小児・周産期医療、そして病院経営に関する記事等々である。

公立病院の経営は、約8割の病院が自治体からの繰入を受けた中においても赤字経営を余儀なくされている。

赤字の理由は診療報酬の削減、政策医療・不採算医療の提供等が考えられるが、大方の見方は人件費や材料費等民間病院に比べて割高な部分を原因とし、その部分の経営の効率化を求めている。

そうした流れを受けて、総務省は自治体病院の経営改革のためのプラン作成を要請し、現在全国の自治体病院でプラン作成が行われており、公立紀南病院組合も素案の作成を行った。

院内の各部門の代表の方々による作業部会を設置し、原案を作成、幹部会で議論を行い、経営幹部会において承認されたものを先日の議会にも報告した。

内容は、プランが求める「平成23年度の単年度黒字の達成」については、職員の皆さんの日々の努力を受けて、達成を見通せるところまでなんとか到達できる内容となっている。

「経営形態の見直し」については、今の経営状態の中で経営改善を図ることを第一に、当面は変更しない事としている。ただし、経営の改善・効率化が進まない場合は経営形態の変更について取り組まざるを得なくなる。

「公的病院間の再編・ネットワーク化」については、地域の医療を安定的に提供する意味でも重要な事柄であるが、非常に難しいデリケートな問題である。県の考え方等を見極めながら、公立紀南病院組合としての考え方を少し時間をかけて検討しなければならない。

我々の病院においては、社会保険病院の所有形態の変更に伴う諸課題と累積赤字の増加等難しい問題をかかえている。

平成18年に定めた中期経営計画を上回り、経営内容は確実に改善の方向にあり、また巷間言われているような紀南病院の譲渡・廃止等は全く考えていないことを明確にする中で、職員の皆さんは改めてそれぞれの病院が定める「理念」を再確認し、地域医療の充実と住民の安心のため、日々の業務を改めて見つめ直し、業務に精励されることを望みます。

Southern Cross

医療の現場から



～リンパ浮腫について～



リンパ浮腫指導の研修と当院ナースの取り組み

4階東病棟 竹田 育子

病院のみなさん新しい年をむかえ何か取り組んでおられますか？

最近、趣味である「ごろ寝読み習慣」が高じて、下腹部のメタボが気になり「スリムになる！リンパマッサージ」なる本を購入しました。自分のメタボ解消のために「リンパ浮腫の治療入門」の研修会に行ってきました。

ところが、2008年の診療報酬改定で、保険医療機関に入院中の患者にリンパ浮腫指導管理料が算定できるようになり、この算定要件のなかに、一番最初に子宮悪性腫瘍、子宮附属器悪性腫瘍と出ているではありませんか。これはしっかり聞いて帰らねばと思いました。この改定を受けて頑張る当院看護部でも、研修参加者のなかで特に婦人科、泌尿器科、外科の関連病棟のスタッフを中心に、それぞれのカラーパンフレットを作成し、該当の患者に個別指導を行っています。ささやかですが、がん診療の拠点病院のスタッフとして、がんの診療が正しく受け入れられ、リンパ浮腫の早期発見、重症化が予防できるよう情報提供していきたいと考えています。（リンパ浮腫指導管理料の概要は、雑誌等に特集されています。ご覧ください。）



“(社)日本看護協会認定 皮膚・排泄ケア認定看護師”

～認定看護師紹介～

スキンケア室 栗林 明夫

私は昨年10月からスキンケア室で勤務しています。「スキンケア室ってどこにあるんですか？」と、多くの職員さんから聞かれます。そう!?確かに、どこにも表示がないので分からないですね。実は、スキンケア室は外来Bブロックの奥のほうにあるのです。

千葉県での7カ月間の研修の後、昨年6月1日付で、(社)日本看護協会認定：皮膚・排泄ケア認定看護師となりました。日本看護協会は、高度化・専門分化が進む医療現場における看護ケアの広がりや看護の質向上を目的に、資格認定制度を発足させ、現在までに認定看護分野は19分野が特定されています。当院では皆様もご存じのように、すでに皮膚・排泄ケア・がん化学療法・新生児集中ケア認定看護師が各1名活躍されており、私で4人目となりました。

皮膚・排泄ケア認定看護師の目的は、

1. ストーマの造設や褥瘡などの創傷及び失禁に伴って生じる問題に対して、専門的な技術を用いて質の高い看護が提供できる。
2. 皮膚・排泄ケア(創傷・オストミー・失禁)領域で優れた実践力を発揮し自己研鑽でき、皮膚・排泄ケア領域の質の向上を図る。
3. 後輩の育成に寄与する活動ができる。

とされています。

まだまだ皮膚・排泄ケア認定看護師としては未熟ではありますが、上記の目的が実践できるような活動をめざして、努力していきたいと思っております。そして、長期間にわたり研修に参加させて頂きました病院や病棟スタッフの皆様へ深くお礼を申し上げます。

Southern Cross

小山肆成と新型インフルエンザ

病院長 山本忠生

コレラと天然痘の流行は江戸時代に多くの死者を出した。コレラに関しては道修町の神農さんの張り子の虎が有名で、疫病徐薬として虎の頭の骨を配合した丸薬と張り子の虎のお守りを無料で配ったのが始まりである。衛生状態の改善とともにコレラの発生は少なくなったが、いまだに世界各地で流行しており、注意は必要である。一方、天然痘は、1980年5月にWHOが根絶宣言を行い、人類が完全に制圧した唯一のウイルスである。1796年にジェンナーにより種痘法が出現したが、日本では昔から天然痘は「怨霊の仕業」「鬼神の仕業」と怖れられていた。種痘法が完成する前の天然痘対策は疱瘡小屋を作り患者を隔離するのみであった。山本亨介氏によれば田辺領や田辺藩の代官所のあるすさみ浦では、天然痘患者の隔離・投薬・救米などの対策も講じられていた。隔離所を作れない所では人家よりはなれた寺を臨時的隔離所にした。人家より遠い山に隔離するいわゆる「山捨て」も行われた。いくつかの村は協同で隔離小屋を作り、費用はそれぞれの村方持ちとし、一度天然痘にかかったことのある免疫の人を雇って差し入れ

をしたという。地域の医療を協同で支える仕組みが働いていたのである。

紀南病院の玄関と駐車場の間に小山肆成(こやましせい・号蓬洲1807～62)の顕彰碑がある。小山肆成は現在の白浜町久木に生まれ、京都で医学の研究をしていた。天保9年(1835年)郷里で流行していた天然痘(痘瘡)の悲惨さを見て種痘苗作成に打ち込む決意をした。彼は家宝の刀剣、家財を売り払い、金の工面をして牛を買い入れて実験し、天保14年(1843年)にわが国独自の牛痘菌を作成した。ジェンナーの種痘菌は時々発病したが、肆成の種痘菌は、発病する事もなく、数段優れていたと評価が高い。ジェンナーの種痘をシーボルトらオランダ商館医が長崎出島に持ち込み、初めて接種に成功した嘉永2年(1849年)より6年前であった。

顕彰碑は鎖国時に独自の種痘法を完成させた肆成の功績を称えるため、紀南病院の新築移転時に建立された。先日小山肆成顕彰会も発足し、設立記念講演で作家の神坂次郎氏が「南の蓬洲、北の青洲」と題して講演を行った。その中で「世間の名声は緒方洪庵や榎林宗建のような有名な人に

集まるが、実際の功績は異なる。私財をなげうって独自の牛痘菌を作った小山肆成の功績は本当に大きい。我々ももっと小山肆成の功績に光を当てても良いのではないか。偉大な働きをしたのに世に知られていない先人は多くいる。」と述べていた。

国内で大流行すると最悪で64万人が死亡するとされる新型インフルエンザは江戸時代の天然痘のようなものである。今までも新型インフルエンザに対し、ワクチンや予防薬投与の準備が行われてきたが、今回、国は行動計画の目的を新型インフルエンザの発生予防と封じ込めから、感染拡大を抑制し、健康被害を最小限にし、社会・経済を破綻させない方針にと舵を切った。第二種感染指定医療機関である紀南病院は早期の疑い患者の診察や移送を受け入れる必要があり責任は大きい。感染者を隔離して被害を抑制する対策は江戸時代も現在も変わらない。

山本亨介：種痘医小山肆成の生涯、時事通信社、東京、1994年

禁煙講座

第6回禁煙講習会報告

《こころの医療センター》

第6回禁煙講習会を12月17日に開催しました。今回は、禁煙推進委員による紙芝居や禁煙クイズの他、有志によるハンドベルのアトラクション等があり、80名の参加がありました。毎回、質問コーナーは盛り上がり、今回も回答するのにあたふたする場面も見られました。

講習会后、これを機に「止めようかな」「減らそう」という声も聞かれましたが成果のほどは…???



Southern Cross

地域医療連携室便り



去年の夏(食べ歩き日記)

私が食べ物について意識するようになったのは、次の出来事からだと思いしている。

明治42年生まれのお父はインパール作戦の白骨街道と形容される厳しいビルマの戦場より帰還し、大浜通りにあった龍神バスと田辺運送のタイヤ倉庫のある家を改造して昭和21年に辻医院(内科)を開業した。その数年後、私が小学3、4年生の頃、生まれて初めての家族旅行で椿温泉に連れて行ってもらった。夕食の献立はほうれん草の和え物以外は何も覚えていない。そのほうれん草の入った小鉢の横に黒ごまにしては似て非なる大きなハエが鎮座していた。ほうれん草の嫌いな私はしめたとばかりにその小鉢を横に置いた。突然大きな雷が落ちてきた。そのハエを除けて和え物を全て食べよとの父の命令だった。我慢をして一気に飲み込んだ。それ以来、この出来事は私の脳裏を離れることはない。

さて、去年の夏のある日曜日に家内と娘と孫の4人で、何かのパンフレットの記事に載っていたお店に食事に行くことにした。有機食品を味わう事が出来るとあった。そのお店は近露にあり自然を充分満喫した。

次の週、またまた家内が友達からおいしい熊野牛のハンバーグランチを安く食べさせてくれるお店があると聞いてきた。ハンバーグは食べたくはないが、日頃のストレスを発散する為に再度本宮大社に向かって出発した。前回とは違い梅雨らしからぬ晴天に恵まれ逢坂トンネルをくぐり、先週の近露の事を思い出しながら一路本宮に。50分程で本宮大社に着いた。家内は早速車から降りて、そのハンバーグを食べさせてくれるお店を探した。川に沿って町並みが見えてくるその入り口の右側に、ガソリンスタンドと最近作られたばかりの公衆トイレがあり、その真向かいにお目当てのお店があった。郵便局をリフォームして作っただけに窓という窓は鉄格子でがっちり囲われており、我々が座ったテーブルの横には昔の局の窓口のカウンターがそのまま残っていた。

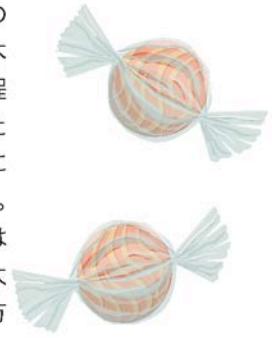


辻内科医院 辻 薫

午前11時半丁度にお店に入り、勿論熊野牛ハンバーグ定食を2つ注文した。店内には近所のおじさん二人と、おばさんと柴犬が団らんしていた。雰囲気としてはお店に協力しているといった風であった。我々が入店すると5分も立たずに出て行かれた。ここのお店を切り盛りしているのは本宮大社の傍に居ると癒される為、田辺から来たと言う若くてきれいな女性2、3人である。

新聞を一通り見終わった頃に話題のハンバーグが出てきた。数種類の野菜が女性らしく添えられ、デザートも美味しかった。私には早く食べる癖がある。兄弟が多かった為か、学生時代に県人寮に居た為か、ワンダーホーゲル部で訓練されたためか、原因はわからない。その癖は家内にも移ってしまったような気がする。それでも時々少しゆっくり食べてと注意される事があるので、よほど私は早いかもしれない。その為、食事が終わってから少しゆっくり味わって食べればよかったと、子供の様な後悔をすることがある。

食事を終えて、そのお店の自家製のクッキーとマーマレード(大変美味しかった)を買う。お店の前の公衆トイレの横には10台ほどの駐車場があり、その横にはあの大鳥居の10分の1程の木製の鳥居があるのを初めて知った。その鳥居をくぐり欄干のない小さな橋を渡ると幅4メートル程の砂利道が続く。3分ほどかけて林を通り抜けると急に芝生の広場が現れた。そこは「森閑とした境内」と云う形容詞がぴったりの熊野本宮大社旧社地・大斎原である。大鳥居をくぐりこの広場に来るよりは、小川のせせらぎを聞きつつ旧跡地に入る方が神聖な気持ちになったような気がする。広場の空気の冷たさは更に静寂さを引き立たせてくれた。人っ子一人いない広場の中央の右には神社跡であるにもかかわらず、伊予の国の一遍上人の碑文があり、その後ろに南無阿弥陀仏と大書した大きな石碑があった。一遍上人の石文を読み終えた頃、二人の若いアベックが大鳥居の方角より歩いてきた。若い二人だけで大斎原の静寂を感じてもらう為に、私たちはその場を離れた。



その後、新宮の方に10分ほど車で下ると『志古』と言うところがあり、そこに瀨峡に行くウォータージェット船の乗り場がある。そこに着くとタイミング良く5分後に船が出発するという。あまりの暑さで少し涼を取りたかったんだと思う。お客さんは定員の半分程度で後ろの席は空いていた。家内と前後の椅子に別々に座り、小さなガラス窓を開けた。

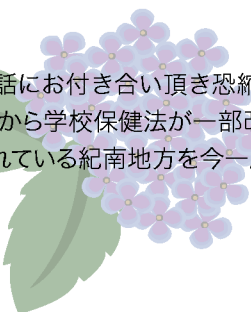
船がスピードを増すにつれ、船先から左右に大粒の水滴のカーテンが太陽に照らされて美しい。一方に舵を切ったり、風が少し強くなるとそのカーテンの水滴が船内の入りしぶきとなって我々を濡らす。左右の岸边には鮎釣りの人が等間隔に並んで川面に釣り糸を垂れていた。船のスピードが落ちた時、窓より川底を覗くと鮎が白い腹を見せて餌を食べている。往復1時間半の船旅であった。帰りの船内では二人共、うとうとと気持ちよく眠ってしまった。



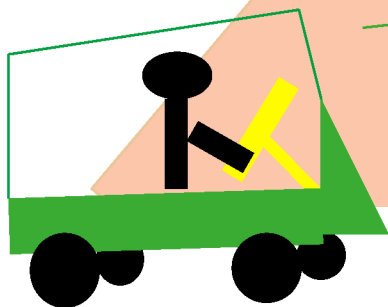
辻内科医院

いよいよその日最後の食べ歩きである。志古より南下し新しくできた那智勝浦町道路を通り1時間少して古座川町に着いた。観光協会の前の青い大きな橋を渡り左に折れて10メートル程行くと又左折。そこに銀行があり、日曜日なのでその前の駐車場を借りる。そこから少し戻ったところに見赤提灯風の古びた平屋がある。鰻の蒲焼きの甘ったるい醤油の臭いで「鰻屋さん」を見付けることは簡単。友人に教えられて今まで3回ほど食べに来たことがある。4時からと云われ表で待っていると、若い男女も1組外で待っていた。4時頃、先に若い男女が入店し、その後我々が入った。薄暗い店内は5、6人掛けられる程のカウンターが入り口から奥に向かって作られており、カウンターの席の後ろが奥の畳部屋に行く通路で、やっと一人が通れる程の広さである。入り口を入ったすぐ左側のカウンターの向こうでは、黒いTシャツを着た60過ぎの細面の痩せたおじさんが備長炭で鰻を丁寧に焼いている。鰻重には鰻の量で上、特上、超特と3種類ある。しかし、ネイミングから受けるイメージ程多くない。若いアベックの男性は特上を2つ注文していた。家内も特上を頼んでいる。私は以前来た時に量的にやや不満が残ったので今度来たときは超特を頼もうと思っていた。しかし狭いお店でたった4人だけの状況では別のを頼む勇氣は無く、私も同じものを注文した。ここのお店は忙しい時より少し閑な時の方が何故か美味しい。家内もいつものように美味しそうにモリモリと全部食べてしまった。店内の4人は寡黙であった。しかし、食べ終わった後みんなと同じものを頼んで良かったと自分で納得した。

他愛ない話にお付き合い頂き恐縮です。戦後の食料事情を考えると今は恵まれています。遅きに失した感がありますが、今年4月から学校保健法が一部改正され、生徒の健康を考慮して食育の概念が取り入れられる事になりました。自然環境に恵まれている紀南地方を今一度見直し、地産地消による「食育」が育まれれば幸いです。



研修医日記



河合 賢二

今回研修医日記を書かせてもらうことになった研修医1年目の河合です。もう田辺に来て9ヶ月、じっとしているのも退屈になってきました。

先日、久々に羽を伸ばそうと思い、龍神温泉とごまざんスカイタワーまでドライブに行ってきました。龍神温泉では見知らぬおじさんと仲良くなり、いろんな話を聞かせてくれたのですが、温泉の効能について話し始めたあたりから調子が出てきてしまったようで、すっかりのぼせてしまいました。おしゃべりおじさんに別れを告げ護摩壇山に向かっていくつかの小さなつり橋を見かけました。母がつり橋好きなので、試しに車を止めて渡ったり戻ったりしてみました。基本的な高いことへの恐怖しか感じなかったのでもちょっと残念でした。母さん、ごめん。

ごまざんスカイタワーでは、ドクターヘリと遭遇したり雉を食べたり貴重な体験。展望台って好きなんです。青い空やずっと広がる山々を眺めていると、外を見ているようで実は自分が見えているような気がします。

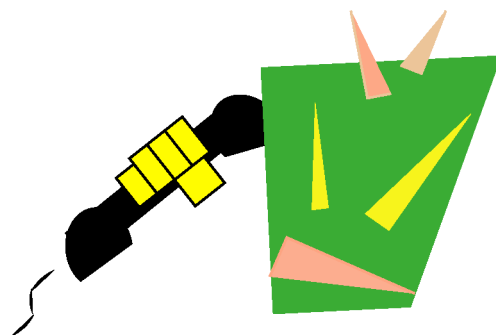
忙しい毎日の中ですごりフレッシュできた1日でした。みなさんも、どこか景色のいいところでぼーっとする時間を作ってみてはどうでしょうか。僕にもいいところがあれば教えてください。

いつか自分の子供が展望台に昇ったとき、高いことへの恐怖しか感じなかったらつらいなあ。

医療安全研修

医療従事者を暴力から守る 『院内のクレーム・暴言・暴力への対応』

講師 亀田総合病院医療技術管理部長 速水昭雄氏



暴言や暴力は許されないが、残念ながら病院内でも暴言・暴力行為が発生することがある。このような場合どのように対応すればよいのか。この点について精力的に取り組んでいる亀田総合病院の速水先生を講師に招き、標題の医療研修を行った。

まず、暴言・暴力行為の対策については、暴力行為は許さないという病院の立場を明確にし、暴力が発生したときには速やかに複数の職員が現場に駆けつけ対応するとともに、被害に遭った職員をケアできる体制を作ることが重要である。次に、クレーム対策であるが、初期対応を速やかにすること、話を良く聞くこと等に注意して対応することが大切である。さらに、医療メディエーター等の第三者が入るとより良い解決につながる。今後の当院の暴力対策にとって非常に示唆に富む内容を、時に具体例をあげて分かりやすく講演して頂き、大いに参考になった。

Southern Cross

看護学校だより

宣誓式

10月17日(金)宣誓式を行いました。

宣誓式とは、4月に入学した1年生がこれまでの学びを踏まえ、看護実践の場である病院で臨地実習が始まります。この時期にもう一度、看護師を目指す看護学生としての決意を新たに、専門職業人としての自覚を認識する式です。

また厳粛かつ清楚なキャンドルの灯火のもと、ナイチンゲール誓詞を心に刻み、近代看護の創始者であるナイチンゲールの精神を受け継ぎ、看護の道への誓いを再確認します。



推薦入学試験 (指定校推薦)

11月28日(金)指定校より11名の推薦があり、小論文や面接の試験を行いました。

一般入学試験については、vol.1をご覧ください。

お問い合わせは看護専門学校まで。
Tel 0739-22-1592

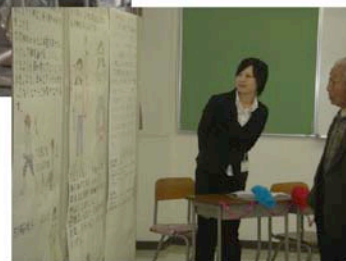
学校祭

11月21日(金)・22日(土)学校祭を開催しました。

テーマは、「ふれあい広場」でした。学生自治会主催ですので、企画からポスター貼り、会場準備、テントはりなど学生が主体で行いました。検査コーナーや模擬店・展示即売など、出品にはハモニティー・こころの医療センター・熊野高校・南部高校など色々ご協力をいただきました。各学年のクラス発表では、1学年は

「アロマで癒しの空間をあなたに」 2学年は「家庭でできる看護～小さな工夫でやさしい看護～」で、介護者の力を効率よくいかにさせるボディメカニクスや、費用をかけずに身の回りにあるもので介護用具の工夫をしました。

3学年は「知ることが健康の第一歩」(右記写真)などを発表しました。近隣の方や医療関係の方々などたくさんのご来校を頂き、おかげさまで盛況のうちに終了することができました。ありがとうございました。



第32回生 ケーススタディ 発表会報告

平成21年1月7日(水)、第32回生25名(3学年)のケーススタディ発表会を開催いたしました。臨地実習で受け持たせていただいた患者様への看護を振り返り、看護実践の結果を評価・考察するとともに自己の看護観を明確にし、ケーススタディとしてまとめました。

Southern Cross

病院のまど



セカンドオピニオン外来始まる

患者様が、自らの病気をよく理解し、より良い治療を選択することは患者様にとって大事なことです。患者様の治療に全力であたっておられるのは主治医の先生でいらっしゃいますが、より良い治療を選択するには主治医以外の専門医の意見も参考に出来ればそれにこしたことはありません。

紀南病院もそういった患者様の要望に応えるため、セカンドオピニオン相談を開始することとしました。他の医療機関に通院又は入院されている患者様を対象に、当院の専門医が、診断内容や治療法について助言させていただきます。

セカンドオピニオン相談の詳細につきましては、社会保険紀南病院ホームページ(<http://www.kinan-hp.tanabe.wakayama.jp/>)に掲載しておりますので参照ください。また、相談をご希望の方は、地域医療連携室(0739-22-5114)までご連絡ください。

暴力対策マニュアル

医療の現場において暴力・暴言が起こると、医療関係者が冷静に医療を行うことが難しくなります。それは、我々の提供する医療サービスの低下を招き、ひいては地域医療のレベルの低下を招きかねません。

そこで、暴力を受けそうになったとき又は受けたとき、病院として適切な対応をとり、医療サービスの低下を招かないよう、暴言・暴力対策マニュアルを作成しました。暴力は断じて許さないという強い意志のもとで作られたこのマニュアルが、地域医療の発展の一助となることを願ってやみません。

第16回市民健康講座のお知らせ

加齢や病気、急激な運動による肩や股、膝の痛みで重い物の上げ下げ、階段の上り下りが苦痛な人・特に、中高年の女性。今回はこの関節痛がテーマです。一緒に勉強して快適な毎日を取り戻しましょう。

日時 平成21年1月25日

時間 pm2:00~3:00

会場 紀南病院 3階講堂

演題 股・膝・肩関節の痛み *

* ~痛みを忘れた快適な毎日を楽しむために~

演者 紀南病院 整形外科部長 築瀬 能三

*参加無料 申込不要です。

新年明けましておめでとうございます。いよいよ2009年がスタート致しました。米国発サブプライム問題に始まった、世界同時金融恐慌が実態経済にも影響を及ぼし始め今年も厳しい1年が予想されます。

話題を変えますが、この原稿を書いているのは2008年11月中旬。いよいよ忘年会・新年会のシーズンが始まるようになっています。最近ごぶさたしている友人、新しく出来た友人、この機会を利用してぜひ友好を深めたいものです。仲間たちとおいしいものを食べ、語り合うのはストレス解消になるのはもちろん、貴重な情報収集の機会だと思っています。みなさんもいろんな職種の仲間たちと、楽しいそして貴重な時間を過ごし、重苦しい不況の毎日を吹き飛ばす活力を得ようではありませんか。サザンクロスを読まれる方々にとって、今年が素晴らしい1年になる事をお祈りし、編集後記とさせていただきます。

山本 道明 記

社会保険紀南病院

〒646-8588

和歌山県田辺市新庄町 46-70

Tel 0739-22-5000 Fax 0739-26-0925

<http://www.kinan-hp.or.jp>